

2023年度事業報告書 及び附属明細書

自 2023(令和5)年4月 1日
至 2024(令和6)年3月31日

〒107-0052 東京都港区赤坂 1-2-2
公益財団法人 日 本 音 楽 財 団

目次

I	概要	1
II	公益目的事業「楽器の貸与事業を通じた音楽文化の振興・普及」	2
	1. 楽器の保全	2
	2. 楽器の貸与	2
	3. 演奏会の開催	8
	4. 音楽文化振興・普及のための助成	15
	5. 広報活動	17
III	総務	19
	1. 役員の変動	19
	2. 理事会	19
	3. 評議員会	19
	4. 監事監査	20
	5. 登記事項	20
	6. 主務大臣(内閣府)への届出等	20
	7. 外部監査の実施	20
	8. 広報活動「ランチタイムコンサート」	20
	9. 事務局	21

[巻末別紙]

1.	理事・監事・評議員名簿	22
2.	委員名簿	23
3.	保有楽器の概要	24
4.	楽器名と被貸与者一覧	29

I 概 要

日本音楽財団は、1974年3月に音楽文化の振興と普及に寄与することを目的として設立され、公益財団法人に移行した2012年4月からは、公益目的事業「楽器の貸与事業を通じた音楽文化の振興・普及」の下に、1.楽器の保全、2.楽器の貸与、3.演奏会の開催、4.音楽文化振興・普及のための助成の4つの柱を置いて事業を推進している。

2024年3月末現在、世界最高クラスの弦楽器21挺(ストラディヴァリウス・ヴァイオリン15挺、チェロ3挺、ヴィオラ1挺、ガールネリ・デル・ジェス・ヴァイオリン2挺)を保有している。

すべての事業は、日本財団の助成金を受けて下記のとおり実施した。

1. 楽器の保全

(1) 楽器の保守管理

保有する弦楽器21挺は、当財団の指定楽器工房において定期的に修理やメンテナンスを実施した。

(2) 楽器への保険の付保

万が一の事故に備え、保有する21挺の弦楽器は、日本の保険会社2社を通じて保険を付保した。

(3) ATA カルネ

楽器を国外へ持ち出す際には、海外の税関で免税扱いの一時輸入通関ができるATAカルネの携帯を義務付けている。

(4) 弦楽器市場の調査

貸与事業に見合う弦楽器購入に向けて市場調査を開始した。

2. 楽器の貸与

保有する21挺の楽器は、国籍を問わず将来性が見込まれる若手演奏家等は無償で貸与している。

3. 演奏会の開催

本年度は、①演奏会の定期開催、②全国のオーケストラとの共同事業、③全国の自治体が保有するホールとの共同事業、④千葉県文化振興財団との共同事業、⑤楽器貸与の広報事業、⑥協力事業の6つの柱のもとに13公演を実施した。

4. 音楽文化振興・普及のための助成

非営利活動・公益事業を行う団体に対して、助成対象を①弦楽器演奏において音楽的、技術的向上を目的とする事業、②より多くの人々に優れた弦楽器演奏を鑑賞する機会を提供する事業に限定して公募し、事業運営委員会で採択された11事業に対して助成した。

II 公益目的事業

「楽器の貸与事業を通じた音楽文化の振興・普及」

1. 楽器の保全

(1) 楽器の保守管理

保有する 21 挺の楽器の修理、調整等については、ストラディヴァリウス等の名器の取扱いに習熟している楽器工房を指定し実施しており、各被貸与者には、3 ヶ月に 1 回のコンディション・チェックを義務付けている。定期チェック及び修理にかかる費用は当財団が全て負担することで、楽器の修理・調整に関する記録を全て管理・保管し、楽器の状態把握に努めている。

ワシントン条約・CITES (Convention on International Trade in Endangered Species of Wild Fauna and Flora: 絶滅の恐れのある野生動植物の国際間取引規制条約) の規制により、特にアメリカ合衆国で通関ができない事例が発生していたため、当財団では全ての保有楽器に対して当財団の指定楽器工房によりワシントン条約・CITES 適用除外証明書 (Declaration of Materials) を発行し、被貸与者には楽器と共に常に携帯することを義務付けている。

保有する楽器は製作後約 300 年が経過し大規模な修理が必要なものが出てきていることから、これに対応するために特定費用準備資金 (大規模楽器修理) を積み立てている。

(2) 楽器への保険の付保

全ての楽器に保険を付保し、当財団が保険料全額を支払っている。本年度も東京海上日動火災保険㈱と三井住友海上火災保険㈱の 2 社にて楽器保険を付保した。

(3) ATA カルネ*

被貸与者等が財団保有の楽器を国外へ持ち出す際には、ATA カルネの携帯を義務付け、ATA カルネを使用して通関できない国への楽器の持ち込みを禁止している。

*「物品の一時輸入のための通関手帳に関する条約 (ATA 条約)」に基づく一時免税通関手帳。
外国へ一時的に物品を持ち込む場合、税関で手軽に「免税扱いの一時輸入通関」ができるほか、外国への輸入税の支払や保証金が不要となる。

(4) 弦楽器市場の調査

日本財団からの弦楽器購入のための事業基金助成及び個人からの寄付をもとに、楽器貸与事業に見合う弦楽器入手に向けて弦楽器の市場調査を開始した。

2. 楽器の貸与

当財団は保有する弦楽器を、若手有望演奏家や世界で活躍する演奏家に国籍を問わず無償で貸与している。

貸与区分、貸与期間、年齢制限などの申請条件等の詳細については、下記のとおり定めている。

楽器貸与については、財団のホームページ等で応募方法を公表し貸与申請を受け付けている。貸与期間2年以上の楽器貸与先「貸与区分 AとB」の選考は、欧・米・アジアの有識者で構成される諮問機関である楽器貸与委員会で毎年行っている。本年度も申請者から提出された書類及び動画は、楽器貸与委員による事前審査及び楽器貸与委員会での討議を経て、新規の被貸与者を選定した。

楽器貸与委員会の審議対象外として、「貸与区分 C」は、デビュー公演、周年記念公演、レコーディング等の具体的な演奏活動目的がある演奏家への1年以内の貸与を行っている。また、「貸与区分 D」は1997年よりエリザベート王妃国際音楽コンクール(ベルギー)のヴァイオリン部門優勝者に次期コンクールまでの4年、ストラディヴァリウス1708年製ヴァイオリン「ハギンス」を副賞として貸与している。

なお、貸与期間の上限を7年と定めた2018年以前より楽器を貸与している被貸与者(旧長期貸与区分)については、演奏活動に支障が出ないように協議の上、楽器の返却時期を決定している。

区分	貸与期間	貸与楽器配分の目安	申請条件	貸与決定方法
A	7年以内	保有楽器数の70%	申請年の9月1日時点で35歳以下の者 (クアルテットは、4名の平均が40歳以下)	楽器貸与委員会での選考を経て会長決裁
B	3年以内	保有楽器数の15%	日本を拠点に演奏活動している者 申請年の9月1日時点で35歳以下の者 (クアルテットは、4名の平均が40歳以下)	
C	1年以内	保有楽器数の10%	具体的な演奏活動の目的がある者 (例:デビュー公演・周年記念公演・レコーディング・コンクール等)	会長決裁
D	次期コンクール開催時まで	保有楽器数の5%	エリザベート王妃国際音楽コンクールヴァイオリン部門優勝者	

(1) 楽器貸与委員会

事前審査を経て下記のとおり本審査を実施した。

開催日時	2023年7月14日(金)13:00~15:20
場 所	日本財団ビル内2階会議室(東京都港区赤坂1-2-2)
楽器貸与委員	巻末別紙2のとおり
財団保有楽器	巻末別紙3のとおり
審議事項	新規貸与申請について
報告事項	現在の貸与状況について

会議結果

- ① ヴァイオリン5名の貸与申請があり、下記の2名が選定された。
- ・Giuseppe Gibboni(イタリア国籍・スイス在住) 貸与区分 A 5年
 - ・吉本梨乃(日本国籍・ベルギー在住) 貸与区分 B 3年

② 現被貸与者の貸与状況が確認された。

(2) 楽器の貸与状況

本年度における保有楽器 21 挺の貸与状況は下記のとおりであり、年度末現在の貸与先は巻末別紙 4 のとおり。

①～④ Stradivarius “Paganini Quartet”

被貸与団体 Goldmund Quartet

①1680 年製 Violin Pinchas Adt(ドイツ・ミュンヘン在住)

②1727 年製 Violin Florian Schötz(ドイツ・ヴュルツブルク在住)

③1731 年製 Viola Christoph Vandory(ドイツ・ミュンヘン在住)

④1736 年製 Cello Raphael Paratore(ドイツ・ミュンヘン在住)

当該楽器を使用しての演奏 合計 35 回(聴衆約 17,500 名)

2019 年度の楽器貸与委員会で貸与区分 A の被貸与団体として貸与が合意され、2019 年 8 月 28 日(うち 3 名は 2019 年 9 月 27 日)より貸与を開始した。2024 年 9 月 30 日(貸与期間 5 年)まで貸与予定。クアルテットのうち Christoph Vandory を除く 3 名が当財団の協力事業(後述)に出演した。当該楽器を使用しての CD をリリースした。

⑤ Stradivarius 1700 年製 Violin “Dragonetti”

被貸与者 Veronika Eberle(ドイツ・ベルリン在住)

当該楽器を使用しての演奏 合計 48 回(聴衆約 44,800 名)

2009 年 5 月 11 日より短期貸与を開始し、2009 年度の楽器貸与委員会にて長期(旧貸与区分)の被貸与者として承認された。2024 年 9 月 30 日(貸与期間 15 年 5 ヶ月)まで貸与予定。当財団の演奏会(後述)に出演した。

⑥ Stradivarius 1702 年製 Violin “Lord Newlands”

被貸与者 Suyoen Kim(ドイツ・ベルリン在住)

当該楽器を使用しての演奏 合計 31 回(聴衆約 45,500 名)

2014 年度の楽器貸与委員会にて長期(旧貸与区分)の被貸与者として承認され、2015 年 1 月 20 日より貸与を開始した。2024 年 9 月 30 日(貸与期間 9 年 8 ヶ月)まで貸与予定。当財団の演奏会(後述)に出演した。

⑦ Stradivarius 1708 年製 Violin “Huggins”

被貸与者 Stella Chen(アメリカ・ニューヨーク在住)

当該楽器を使用しての演奏 合計 53 回(聴衆約 34,400 名)

同氏は 2019 年エリザベート王妃国際音楽コンクール(ベルギー)の優勝者であり、副賞として 2019 年 5 月 28 日より次期コンクール開催前の 2024 年 4 月 2 日まで 4 年 10 ヶ月貸与した。(通常 4 年ごとの開催のコンクールだが新型コロナウイルス感染症拡大により 1 年延期された)

コロナ禍の ATA カルネ対応のため 2020 年 9 月に貸与を一時中断し、日本へ楽器を戻し当財団で保管していたが、渡航制限の緩和により 2022 年 8 月 17 日に貸与を再開した。当財団の演奏会(後述)に出演した。当該楽器を使用して CD レコーディン

グを行った。リリースは次年度以降の予定。

⑧ Stradivarius 1709 年製 Violin “Engleman”

被貸与者 Timothy Chooi (アメリカ・フィラデルフィア在住)

当該楽器を使用しての演奏 合計 18 回 (聴衆約 16,700 名)

2020 年度の楽器貸与委員会にて貸与区分 A の被貸与者として貸与が合意されたが、コロナ禍の渡航制限により貸与開始が遅れ、2022 年 6 月 6 日より貸与を開始した。2029 年 6 月 5 日 (貸与期間 7 年) まで貸与予定。

⑨ Stradivarius 1710 年製 Violin “Camposelice”

被貸与者 María Dueñas (オーストリア・ウィーン在住)

当該楽器を使用しての演奏 合計 13 回 (聴衆約 28,800 名)

同氏には、2019 年 7 月 12 日より貸与区分 C で Guarneri del Gesù 1736 年製 Violin “Muntz” を 1 年間貸与していたが、新型コロナウイルス感染拡大による公演中止等を考慮し、貸与期間を 6 ヶ月間延長した。その後、2020 年度楽器貸与委員会において貸与区分 A として、貸与区分 C の貸与終了後から 4 年の貸与が合意された。その後、2022 年 11 月 16 日に貸与楽器を当該楽器に変更し、2025 年 1 月 11 日 (貸与期間 2 年 2 ヶ月、通算貸与期間計 5 年 2 ヶ月、貸与中断期間 4 ヶ月除く) まで貸与予定。当財団の演奏会 (後述) に出演した。当該楽器を使用しての CD をリリースした。

⑩ Stradivarius 1714 年製 Violin “Dolphin”

被貸与者 Ray Chen (アメリカ・フィラデルフィア在住)

当該楽器を使用しての演奏 合計 41 回 (聴衆約 91,400 名)

同氏は、2009 年エリザベート王妃国際音楽コンクール (ベルギー) 優勝者であり、副賞として 2009 年 6 月 2 日から Stradivarius 1708 年製 Violin “Huggins” を貸与していたが、他団体からも楽器貸与を受けていたため、2010 年 9 月 8 日 (貸与期間 1 年 3 ヶ月) で楽器貸与を中断した。その後、他団体からの貸与が終了したため、長期 (旧貸与区分) として 2012 年 4 月 11 日より Stradivarius 1702 年製 Violin “Lord Newlands” (貸与期間 2 年 2 ヶ月)、2014 年 6 月 19 日より Stradivarius 1715 年製 Violin “Joachim” (貸与期間 5 年 4 ヶ月) を貸与。2019 年 10 月 23 日より Stradivarius 1735 年製 Violin “Samazeuilh” を 2022 年 8 月 31 日まで貸与予定であったが、コロナ禍の渡航制限により ATA カルネの更新が困難であったため、2020 年 9 月に貸与を一時中断し、日本へ楽器を戻し、その間当該楽器は日本在住の演奏家に短期貸与に供した。その後、渡航制限が緩和された 2022 年 9 月 5 日に貸与楽器を当該楽器に変更し貸与を再開した。2024 年 9 月 30 日 (貸与期間 2 年 1 ヶ月、通算貸与期間計 10 年 10 ヶ月、貸与中断期間 3 年 6 ヶ月を除く) まで貸与予定。当財団の演奏会 (後述) に出演した。

⑪ Stradivarius 1715 年製 Violin “Joachim”

1) 被貸与者 前田妃奈 (東京在住)

貸与期間 2022 年 8 月 31 日～2023 年 8 月 23 日 (1 年) 貸与区分 C
国際コンクール出場及び演奏活動のため

当該楽器を使用しての演奏 合計 13 回(聴衆約 8,000 名)

2022 年 10 月開催のヘンリック・ヴィエニャフスキ国際ヴァイオリン・コンクールで、当該楽器を使用して優勝し、その副賞として多くの国でのコンサートを行った。

2)被貸与者 外村理紗(アメリカ・ニューヨーク、東京在住)

当該楽器を使用しての演奏 合計 18 回(聴衆約 6,000 名)

同氏は、2021 年度の楽器貸与委員会にて貸与区分 A の被貸与者として貸与が合意され、2022 年 1 月 12 日より Stradivarius 1722 年製 Violin “Jupiter”を貸与していたが、2023 年 8 月 25 日に貸与楽器を当該楽器に変更した。2027 年 1 月 11 日(当該楽器の貸与 3 年 5 ヶ月、通算貸与期間計 5 年)まで貸与予定。当財団の演奏会(後述)に出演した。

⑫ Stradivarius 1716 年製 Violin “Booth”

被貸与者 吉田 南(アメリカ・ボストン在住)

当該楽器を使用しての演奏 合計 21 回(聴衆約 19,200 名)

2020 年度の楽器貸与委員会にて貸与区分 B の被貸与者として貸与が合意され、2021 年 8 月 10 日に貸与を開始し、2024 年 9 月 30 日(貸与期間 3 年 2 ヶ月)まで貸与予定。

⑬ Stradivarius 1717 年製 Violin “Sasserno”

被貸与者 Ji Young Lim(韓国・ソウル在住)

当該楽器を使用しての演奏 合計 30 回(聴衆約 30,800 名)

同氏は、2015 年エリザベート王妃国際音楽コンクール(ベルギー)の優勝者であり、副賞として Stradivarius 1708 年製 Violin “Huggins”を 2015 年 6 月 2 日より 2019 年 3 月 28 日まで(3 年 10 ヶ月)貸与した。本人より貸与延長の申請があり、2018 年度の楽器貸与委員会で貸与区分 A の被貸与者として合意され、2019 年 3 月 28 日より当該楽器を貸与開始した。コロナ禍での渡航制限により ATA カルネの更新が困難だったため、2022 年 1 月 19 日に貸与を一時中断し、日本へ楽器を戻し当財団で保管した。渡航制限が緩和された後、2022 年 5 月 16 日より貸与を再開し、中断した期間とコロナ禍で延期された演奏会等を考慮して 2024 年 9 月 30 日(貸与期間 5 年 2 ヶ月、通算期間計 9 年:貸与中断期間 4 ヶ月を除く)まで貸与予定。当財団の演奏会(後述)に出演した。

⑭ Stradivarius 1722 年製 Violin “Jupiter”

1)被貸与者 外村理紗(アメリカ・ニューヨーク在住)

当該楽器を使用しての演奏 合計 12 回(聴衆約 3,600 名)

2021 年度の楽器貸与委員会にて貸与区分 A の被貸与者として貸与が合意され、2022 年 1 月 12 日より貸与を開始し、2023 年 8 月 25 日に貸与楽器を Stradivarius 1715 年製 Violin “Joachim”に変更(当該楽器の貸与期間 1 年 7 ヶ月)した。

2)被貸与者 Giuseppe Gibboni(スイス・ポルツァ在住)

当該楽器を使用しての演奏 合計 6 回(聴衆約 3,900 名)

同氏は、2023 年度の楽器貸与委員会にて貸与区分 A の被貸与者として貸与が合意され、2023 年 10 月 23 日より貸与を開始した。2028 年 10 月 22 日(貸与期間 5 年)まで貸与予定。当財団の協力事業(後述)に出演した。

⑮ Stradivarius 1725 年製 Violin “Wilhelmj”

被貸与者 金川真弓(ドイツ・ベルリン在住)

当該楽器を使用しての演奏 合計 57 回(聴衆約 40,000 名)

2022 年度の楽器貸与委員会にて貸与区分 A の被貸与者として貸与が合意され、2022 年 9 月 6 日より貸与を開始し、2025 年 9 月 5 日(貸与期間 3 年)まで貸与予定。

⑯ Stradivarius 1735 年製 Violin “Samazeuilh”

被貸与者 Lun Li(アメリカ・ニューヨーク在住)

当該楽器を使用しての演奏 合計 47 回(聴衆約 21,500 名)

2022 年度の楽器貸与委員会にて貸与区分 A の被貸与者として貸与が合意され、2022 年 9 月 6 日より貸与を開始し、2027 年 9 月 5 日(貸与期間 5 年)まで貸与予定。

⑰ Stradivarius 1736 年製 Violin “Muntz”

被貸与者 吉本梨乃(ベルギー・ブリュッセル在住)

当該楽器を使用しての演奏 合計 22 回(聴衆約 4,400 名)

同氏には 2022 年 11 月 16 日から 2023 年 8 月 31 日まで貸与区分 B で貸与(10 ヶ月)していたが、2023 年度の楽器貸与委員会において貸与区分 A の被貸与者として貸与が合意され、2023 年 9 月 1 日より 2026 年 8 月 31 日(貸与期間 3 年:通算貸与期間 3 年 10 ヶ月)まで貸与予定。当財団の協力事業(後述)に出演した。

⑱ Stradivarius 1696 年製 Cello “Lord Aylesford”

1)被貸与者 Pablo Ferrández(スペイン・トレドネス在住)

当該楽器を使用しての演奏 合計 2 回(聴衆約 1,100 名)

2013 年度の楽器貸与委員会にて長期(旧貸与区分)の被貸与者として承認され、2014 年 1 月 17 日より 2023 年 9 月 24 日(貸与期間 9 年 8 ヶ月)まで貸与した。当財団の演奏会(後述)に出演した。

2)被貸与者 横坂 源(静岡県在住)

貸与期間 2024 年 1 月 26 日～2024 年 12 月 16 日(11 ヶ月) 貸与区分 C
演奏活動及び CD 録音のため

当該楽器を使用しての演奏 合計 6 回(聴衆約 2,700 名)

⑲ Stradivarius 1730 年製 Cello “Feuermann”

被貸与者 Camille Thomas(フランス・パリ在住)

当該楽器を使用しての演奏 合計 54 回(聴衆約 56,600 名)

2019 年 9 月 24 日より貸与区分 C で貸与し、新型コロナウイルス感染拡大による公

演中止等を考慮し、貸与期間を6ヶ月間延長した。その後、2020年度の楽器貸与委員会において、貸与区分Aの被貸与者として、貸与区分Cの貸与期間終了後から2年の貸与が合意された。なお、2022年度の楽器貸与委員会に同氏より延長貸与の申請があり、2年延長が合意され、2025年3月23日(貸与期間5年6ヶ月)まで貸与予定。当該楽器を使用してのCDをリリースした。

⑳ Guarneri del Gesù 1736年製 Violin “Muntz”

被貸与者 竹内鴻史郎(東京在住)
貸与期間 2023年6月29日～2024年3月28日(9ヶ月) 貸与区分C
演奏活動及び国際コンクール出場のため
当該楽器を使用しての演奏 合計6回(聴衆約2,700名)

㉑ Guarneri del Gesù 1740年製 Violin “Ysaÿe”

被貸与者 Benjamin Beilman(アメリカ・ニューヨーク在住)
当該楽器を使用しての演奏 合計80回(聴衆約58,000名)

2016年度の楽器貸与委員会にて長期の被貸与者として承認され、Stradivarius 1709年製“Engleman”を2016年12月7日より2023年12月6日(貸与期間7年)まで貸与予定であったが、コロナ禍の渡航制限によりATAカルネの更新が困難なため、2020年9月に貸与を一時中断した。2022年6月15日に渡航制限が緩和され貸与を再開する際に当該楽器に変更した。貸与期間はコロナ禍で中断した期間を考慮し、2025年8月6日(貸与期間3年2ヶ月、通算貸与期間計7年:貸与中断期間1年9ヶ月を除く)まで貸与予定。

3. 演奏会の開催

当財団楽器の被貸与者による演奏会を下記のとおり実施した。(13公演実施)

①演奏会の定期開催(2公演)

(1)～(2)小規模編成のストラディヴァリウス・コンサート2023

英語表題「Encounter with Stradivari 2023」

当財団は、保有するストラディヴァリウス10挺以上を使用する「ストラディヴァリウス・コンサート」を4年に一度開催している。その間の3年は、ストラディヴァリウス数挺を使用して小規模編成の「ストラディヴァリウス・コンサート」を定期開催している。名器の音色と質の高いクラシック音楽を披露し、各開催地におけるクラシック音楽の振興・普及に寄与すると共に、当財団の事業を広く周知広報することに努めている。

本年度の開催詳細は下記とおりである。東京公演の実録CD制作及び動画は財団YouTubeで配信した。また東京公演はNHK-FMラジオ「ベストオブクラシック」で収録され放送された。

公演名 名器による至高のアンサンブル「ストラディヴァリウス・コンサート2023」
出演 Suyoen Kim Stradivarius 1702年製 Violin “Lord Newlands”使用

María Dueñas Stradivarius 1710 年製 Violin “Camposelice”使用
Pablo Ferrández Stradivarius 1696 年製 Cello “Lord Aylesford”使用
江口 玲 ピアノ

曲 目 ラフマニノフ: ヴォカリーズ 作品 34-14
ベートーヴェン: ピアノ三重奏曲第 4 番 変ロ長調 作品 11 《街の歌》
ラヴェル: ツィガーヌ
ベートーヴェン: ヴァイオリン・ソナタ第 5 番 へ長調 作品 24
《春》から第 1 楽章
チャイコフスキー: ピアノ三重奏曲 イ短調 作品 50
《偉大な芸術家の思い出に》から第 1 楽章
ショスタコーヴィチ: 2 つのヴァイオリンとピアノのための 5 つの小品
コルンゴルト: 2 つのヴァイオリン、チェロ、左手のためのピアノによる組曲
作品 23 から第 2 楽章、第 3 楽章
ヘンデル・ドウエニャス編: トリオ・ソナタ ト短調 作品 2-6 HWV391 から
1 楽章 (アンコール曲)

(1) 大阪公演

日 時 2023 年 9 月 22 日(金) 19:00 開演
会 場 住友生命いずみホール (821 席)(大阪府大阪市)
主 催 (公財)日本音楽財団、
住友生命いずみホール[(一財)住友生命福祉文化財団]
共 催 (社福)日本ライトハウス
助 成 (公財)日本財団
入 場 料 一般 6,000 円、友の会 5,400 円、U30(30 歳以下)2,000 円
入場料収入 1,844,000 円は、(一財)住友生命福祉文化財団(734,000 円)、
(社福)日本ライトハウス(1,110,000 円)のそれぞれの公益事業に使われた。
来場者数 約 400 名(招待含む)

(2) 東京公演

日 時 2023 年 9 月 24 日(日) 14:00 開演
会 場 紀尾井ホール (800 席)(東京都中央区)
主 催 (公財)日本音楽財団、(公財)日本製鉄文化財団
助 成 (公財)日本財団
協 力 タカギクラヴィア株式会社
入 場 料 S 席 6,500 円(サポート会員 5,850 円)、A 席 5,000 円、
U29(29 歳以下)1,500 円
入場収入 2,785,650 円は、(公財)日本製鉄文化財団(紀尾井ホール)の
公益事業に使われた。
来場者数 約 640 名(招待含む)

② 全国のオーケストラとの共同事業(4 公演)

2020 年度より(公社)日本オーケストラ連盟(正会員:25 団体、準会員:15 団体)との共

同事業として、全国のオーケストラの主催する公演に当財団の楽器被貸与者がソリストとして出演協力した。本事業を通じて双方が保有する音楽資源を有効に活用し、当財団の楽器の被貸与者及び各楽団のレベル向上につながり、また、実施した4公演に学生計90名を招待し、若者がクラシック音楽に触れる機会を提供するとともに、次世代の音楽文化の担い手の育成にも貢献した。4公演のうち3公演の実録CDを作成した。

(3) 神奈川フィルハーモニー管弦楽団との共演

公演名 県民名曲シリーズ第18回
日程 2024年1月6日(土) 14:00開演
会場 神奈川県民ホール大ホール (2,115席) (神奈川・横浜)
主催 (公財)神奈川フィルハーモニー管弦楽団
神奈川県、神奈川県民ホール
協力 (公財)日本音楽財団
特別協力 (公財)日本財団
助成 文化庁文化芸術費補助金(舞台芸術当総合支援事業(創造団体支援))
独立行政法人日本芸術文化振興会
指揮 出口大地
出演 外村理紗 Stradivarius 1715 Violin “Joachim”使用
曲目 メンデルスゾーン: ヴァイオリン協奏曲 ホ短調 作品64
来場者数 約2,100名(うち学生招待20名)

(4) 山形交響楽団との共演

公演名 ユアタウンコンサート米沢公演
日程 2024年1月8日(月・祝) 15:00開演
会場 伝国の杜 置賜文化ホール (500席) (山形・米沢)
主催 (公社)山形交響楽協会、米沢市教育委員会、
(公財)米沢上杉文化振興財団
特別協賛 山形新聞、山形放送
協力 (公財)日本音楽財団
特別協力 (公財)日本財団
助成 文化庁文化芸術費補助金(舞台芸術当総合支援事業(創造団体支援))
独立行政法人日本芸術文化振興会
後援 山形県、山形教育委員会、山形新聞、山形放送、山形テレビ、
テレビユー山形、さくらんぼテレビ、NHK山形放送
指揮 阪哲朗
出演 外村理紗 Stradivarius 1715 Violin “Joachim”使用
曲目 チャイコフスキー: ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 作品35
来場者数 約480名(うち学生招待15名)

(5) 神奈川フィルハーモニー管弦楽団との共演

公演名 特別演奏会 第18回フレッシュ・コンサート

日 程 2024年1月27日(土) 14:00 開演
会 場 神奈川県立音楽堂 (900席)(神奈川・横浜)
主 催 (公財)神奈川フィルハーモニー管弦楽団、神奈川県
共 催 川崎市
協 力 (公財)日本音楽財団
特別協力 (公財)日本財団
指 揮 横山 奏
出 演 Stella Chen Stradivarius 1708 Violin “Huggins”使用
曲 目 プロコフィエフ: ヴァイオリン協奏曲 第2番 ト短調 作品63
来場者数 約390名(うち学生招待40名)

(6)大阪交響楽団との共演

公 演 名 第268回定期演奏会
日 程 2024年1月31日(水) 19:00 開演
会 場 ザ・シンフォニーホール (1,704席)(大阪)
主 催 (公社)大阪交響楽団
特別協賛 大和ハウス工業株式会社
後 援 大阪府、堺市
協 力 ザ・シンフォニーホール、(公財)堺市文化振興財団
(公財)日本音楽財団
特別協力 (公財)日本財団
助 成 文化庁文化芸術費補助金(舞台芸術当総合支援事業(創造団体支援))
独立行政法人日本芸術文化振興会
指 揮 原田慶太楼
出 演 Stella Chen Stradivarius 1708 Violin “Huggins” 使用
曲 目 コルンゴルト: ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 作品35
来場者数 約1,250名(うち学生招待15名)

③全国の自治体が保有するホールとの共同事業(1公演)

2023年度より(公社)全国公立文化施設協会(公文協)と協力し、全国の自治体が運営するホールと共同し、地域におけるクラシック音楽文化の振興・普及のため、下記のとおり実施した。

実録CDを作成し、関係者へ配布することで当財団の事業の周知広報に努めた。

(7)公演名 ヴェロニカ・エーベルレ ヴァイオリン・リサイタル
日 程 2023年9月9日(土) 14:00 開演
会 場 滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール小ホール (323席)(滋賀・大津)
主 催 (公財)びわ湖芸術文化財団、(公財)日本音楽財団
(公社)全国公立文化施設協会
助 成 (公財)日本財団
出 演 Veronika Eberle Stradivarius 1700 Violin “Dragonetti”使用

	山田武彦	ピアノ
曲 目	モーツァルト： ヴァイオリン・ソナタ ヘ長調 K.377	
	チャイコフスキー： なつかしい土地の思い出 作品 42	
	バルトーク： ラプソディー第 1 番 Sz.86	
	クララ・シューマン： ヴァイオリンとピアノのための 3 つのロマンス作品 22	
	ブラームス： ヴァイオリン・ソナタ第 2 番 イ長調 作品 100	
	パガニーニ： カンタービレ (アンコール曲)	
入場料	一般 3,850 円、青少年(24 歳以下)1,650 円	
	入場料収入 792,000 円は、地域の音楽文化振興のための公益目的事業に充当された。	
来場者数	約 240 名	

④千葉県文化振興財団との共同事業(2 公演)

2023 年度より(公財)千葉県文化振興財団と協力し、同地域におけるクラシック音楽文化の振興・普及を目的として、特に「青少年のためのコンサート」として下記のとおり実施した。

公演名	ヴェロニカ・エーベルレ ヴァイオリン・リサイタル
出演	Veronika Eberle Stradivarius 1700 Violin “Dragonetti” 使用 山田武彦 ピアノ
曲 目	クララ・シューマン： ヴァイオリンとピアノのための 3 つのロマンス 作品 22 バルトーク： ラプソディー第 1 番 Sz.86 井上武士： 海 チャイコフスキー： なつかしい土地の思い出 作品 42 大中寅二： 椰子の実 (アンコール曲)

(8) 日程	2023 年 9 月 11 日(月) 14:00 開演
会場	千葉県南総文化ホール (1,200 席)(千葉・館山)
主催	(公財)千葉県文化振興財団、(公財)日本音楽財団
助成	(公財)日本財団 文化庁文化芸術振興費補助金(地域の中核劇場、音楽堂等活性化)独立行政法人日本芸術文化振興会
後援	千葉県、館山市、木更津市、勝浦市、鴨川市、君津市、富津市、袖ヶ浦市、南房総市、鋸南町各教育委員会
入場料	一般 2,000 円、U-30(30 歳以下)1,000 円、小中学生 500 円 入場料収入 496,500 円は地元還元し、公益事業に使われた。
来場者数	約 360 名(うち学校招待 82 名含む)

(9) 日程	2023 年 9 月 12 日(火) 14:00 開演
会場	千葉県東総文化会館 (900 席)(千葉・旭)
主催	(公財)千葉県文化振興財団、(公財)日本音楽財団

助 成 (公財)日本財団
文化庁文化芸術振興費補助金(地域の中核劇場、音楽堂等活性化)独立行政法人日本芸術文化振興会

後 援 千葉県、銚子市、東金市、旭市、匝瑳市、香取市、山武市、多古町、東庄町、横芝光町各教育委員会

入 場 料 一般 2,000 円、U-30(30 歳以下)1,000 円、小中学生 500 円
入場料収入 163,500 円は地元還元し、公益事業に使われた。

来場者数 約 630 名(旭市内の 5 つの中学校の 3 年生 542 名招待含む)

⑤楽器貸与の広報事業(2 公演)

楽器貸与事業の広報の一環として、全席招待の演奏会を下記のとおり実施した。
動画を撮影し当財団の YouTube サイトで一部配信した。

(10)公演名 レイ・チェン ヴァイオリン・リサイタル

日 程 2023 年 8 月 9 日(水) 19:00 開演

会 場 サントリーホール ブルーローズ(小ホール) (384 席)(東京)

主 催 (公財)日本音楽財団

助 成 (公財)日本財団

出 演 Ray Chen Stradivarius 1714 Violin “Dolphin”使用
佐藤卓史 ピアノ

曲 目 ストラヴィンスキー/ドゥシキン編: イタリア組曲
バッハ: 無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ第 2 番 ニ短調
BWV1004 より「シャコンヌ」
ブラームス/ヨアヒム編: ハンガリー舞曲第 7 番
モンティ: チャールダーシュ
クライスラー: 美しきロスマリン (アンコール曲)
ポンセ/ハイフェッツ編: エストレリータ (アンコール曲)

来場者数 約 310 名(招待のみ)

(11)公演名 エリザベート王妃国際音楽コンクール(ベルギー)優勝者による
ステラ・チェン & イム・ジョン デュオ・リサイタル

日 程 2024 年 1 月 25 日(木) 19:00 開演

会 場 サントリーホール ブルーローズ(小ホール) (384 席)(東京)

主 催 (公財)日本音楽財団

助 成 (公財)日本財団

出 演 Stella Chen Stradivarius 1708 Violin “Huggins”使用
Ji Young Lim Stradivarius 1717 Violin “Sasserno”使用
大須賀恵里 ピアノ

曲 目 ルクレール: 2 つのヴァイオリンのためのソナタ ホ短調 作品 3-5
グリーグ: ヴァイオリン・ソナタ第 3 番 ハ短調 作品 45
ブラームス: ヴァイオリン・ソナタ第 3 番 ニ短調 作品 108

モシュコフスキ： 2つのヴァイオリンとピアノのための組曲 ト短調 作品 71
ショスタコーヴィチ： 2つのヴァイオリンとピアノのための5つの小曲から
3.ポルカ、5.エレジー（アンコール曲）

来場者数 約 240名(招待のみ)

⑥協力事業(2事業)

(公財)笹川保健財団の要請により、ノルウェー(ベルゲン)とスイス(ジュネーブ)でストラディヴァリウスによる演奏を下記のとおり披露し、当財団の楽器貸与活動を周知広報した。

- (12)公演名 「らい菌発見 150周年記念ハンセン病ベルゲン国際会議」
ストラディヴァリウス・ミニ・コンサート 2023(ノルウェー・ベルゲン)
- 日 程 2023年6月21日(水)
1) オープニングセレモニー・コンサート 9:50~10:20
2) レセプション・コンサート 17:30~18:00
- 会 場 グリーグホール ペールギュントホール(ノルウェー・ベルゲン)
The Peer Gynt Hall, GRIEGHALLEN
- 主 催 笹川ハンセン病イニシアチブ、ベルゲン大学
- 協 力 (公財)日本音楽財団
- 出 演 Pinchas Adt Stradivarius 1680 Violin “Paganini”使用
Florian Schötz Stradivarius 1727 Violin “Paganini”使用
吉本梨乃 Stradivarius 1736 Violin “Muntz”使用
Raphael Paratore Stradivarius 1736 Cello “Paganini”使用
- 曲 目 1) オープニングセレモニー
グリーグ：「ペール・ギュント組曲」朝の気分
バッハ：無伴奏ヴァイオリン・ソナタ第1番 第1楽章
ハイドン：ディヴェルティメント(2つのヴァイオリンとチェロ版)
ドボルザーク：ミニチュア作品75から1楽章、2楽章
パッヘルベル：「カノン」(3つのヴァイオリンとチェロ版)
2) レセプション
パーセル：パヴァーヌとシャコンヌ
グリーグ：「ペール・ギュント」組曲 ソルヴェイグの歌
(2つのヴァイオリンとヴィオラ版)
ガルデル：ポル・ウナ・カベサ(2つのヴァイオリンとチェロ版)
パガニーニ：24のカプリースより第24番
ルーベンベルガー：オクセンフェルダー・ショティッシュ他(アンコール曲)
- 来場者数 1)、2)各約200名
ライブ配信 当日は会議のライブ配信ともに演奏も配信された

- (13)公演名 ストラディヴァリウス・ミニ・コンサート 2024(スイス・ジュネーブ)
- 出 演 Giuseppe Gibboni Stradivarius 1722年製 Violin “Jupiter”使用
吉本梨乃 Stradivarius 1736年製 Violin “Muntz”使用

- 1) 名称 ハンセン病回復者に対する偏見や差別をなくすための「グローバル・アピール 2024」スペシャルコンサート
ストラディヴァリウス・ミニ・コンサート 2024①
- 日程 2024年1月31日(水) オープニングコンサート 17:10～17:40
- 会場 世界保健機関(WHO)本部(スイス・ジュネーブ)
- 主催 笹川ハンセン病イニシアチブ、世界保健機関(WHO)
- 協力 (公財)日本音楽財団
- 曲目 パガニーニ: 24のカプリースより第24番
イザイ: 無伴奏ヴァイオリン・ソナタ 作品27-3
バッハ: 無伴奏ヴァイオリン・ソナタ第1番 第1楽章
ヴィエニャフスキ: 2つのヴァイオリンのためのエチュード・カプリース 作品18-1
ガルデル: ポル・ウナ・カベサ (アンコール曲)
- 来場者数 約100名
- 配信 宣言式典のライブ配信とともに演奏も配信された。
録画は、世界保健機関(WHO)及び笹川ハンセン病イニシアチブのWebで配信された
- 2) 名称 ストラディヴァリウス・ミニ・コンサート 2024②
- 日程 2024年1月31日(水) 20:00～20:30
- 会場 在ジュネーブ日本政府代表部大使公邸(スイス)
- 主催 (公財)日本財団、(公財)笹川保健財団
- 協力 (公財)日本音楽財団
- 曲目 バッハ: 無伴奏ヴァイオリン・ソナタ第1番 第2楽章、第3楽章
パガニーニ: 24のカプリースより第1番、第5番
ベリオ: グランデュオコンチェルト タンテ 作品57-3
ガルデル: ポル・ウナ・カベサ (アンコール曲)
- 聴衆 20名(招待のみ)

4. 音楽文化振興・普及のための助成

「弦楽器を主とした演奏において、音楽的、技術的向上に資する事業」、「より多くの人々に優れた弦楽器演奏を鑑賞する機会を提供する事業」を対象として事業を公募し、有識者で構成される諮問委員会である事業運営委員会において、若手弦楽器奏者育成、公益性、運営力、創造性、緊要度の5つの要件から総合的に判断して助成先を選定した。年度初めに実施される事業にも対応するため、前年度中に委員会を開催している。

2023年度事業運営委員会

開催日 2023年2月28日(火) 14:00～16:00

場所 日本財団ビル2階会議室(東京都港区赤坂1-2-2)

事業運営委員 巻末別紙2のとおり

事業運営委員会で 11 事業が採択され、下記のとおり 11 事業に 5,820,000 円を助成した。詳細(開催日順)は下記のとおり。

- (1) 事業名 ナナナーナナ・アンサンブル Vol.3
実施団体 エス・ストリングス
日程 2023 年 6 月 6 日(火)
会場 日本キリスト教団天満教会(大阪)
助成額 300,000 円
- (2) 事業名 はつかいち室内合奏団“SA・KU・RA”演奏会 2023
実施団体 公益財団法人廿日市市芸術文化振興事業団
日程 2023 年 6 月 17 日(土)
会場 はつかいち文化ホール ウッドワンさくらびあ小ホール(広島)
助成額 500,000 円
- (3) 事業名 Music Dialogue ディスカバリー・シリーズ 2023-24
実施団体 一般社団法人 Music Dialogue
日程・会場 公開リハーサル
① 2023 年 6 月 21 日(水)中目黒 GT プラザホール(東京)
② 2023 年 9 月 12 日(火)中目黒 GT プラザホール(東京)
③ 2024 年 2 月 14 日(水)中目黒 GT プラザホール(東京)
演奏会
① 2023 年 6 月 25 日(日)築地本願寺講堂(東京)
② 2023 年 9 月 15 日(金)めぐろパーシモンホール小ホール(東京)
③ 2024 年 2 月 17 日(土)築地本願寺講堂(東京)
助成額 520,000 円
- (4) 事業名 青少年によるオーケストラの祭典
コジマ・ムジカ・コレギア第 30 回定期演奏会・広島ジュニアオーケストラ
第 20 回定期演奏会 合同演奏会 ～小島秀夫メモリアルコンサート～
実施団体 広島ジュニアオーケストラ
日程 2023 年 8 月 13 日(日)
会場 JMS アステールプラザ大ホール(広島)
助成額 300,000 円
- (5) 事業名 東京ジュニアオーケストラソサエティ 第 23 回定期演奏会
実施団体 特定非営利活動法人東京ジュニアオーケストラソサエティ
日程 2023 年 8 月 24 日(木)
会場 文京シビックホール大ホール(東京)
助成額 800,000 円
- (6) 事業名 第 49 回木曽音楽祭
実施団体 木曽音楽祭実行委員会
日程 2023 年 8 月 25 日(金)～8 月 27 日(日)
会場 木曽文化公園文化ホール(長野)
助成額 500,000 円
- (7) 事業名 プロジェクト Q・第 21 章～若いクアルテット、シューベルトに挑戦する

- 実施団体 プロジェクト Q 実行委員会
 日程 マスタークラス:2023 年 9 月～12 月
 トライアル・コンサート:2024 年 2 月 10 日～12 日
 本公演:2024 年 3 月 3 日(日)
 会場 東京音楽大学(東京)
 助成額 1,000,000 円
- (8)事業名 しまなみ海道・秋の音楽休暇村 2023
 実施団体 一般社団法人コジマ・ムジカ・コレギア
 日程・会場 ①2023 年 10 月 28 日(土)万田発酵・発酵パーク内(広島)
 ②2023 年 10 月 29 日(日)遊亀山 浄泉寺(広島)
 ③2023 年 11 月 3 日(金)(株)三和ドック本社ビル展望カフェ
 「海路平安」(広島)
 ④2023 年 11 月 4 日(土)ベル・カントホール(広島)
 ⑤2023 年 11 月 5 日(日)ベル・カントホール(広島)
 助成額 500,000 円
- (9)事業名 Cabinet of Curiosities 2023 New “Chamber”Music
 実施団体 Cabinet of Curiosities
 日程 2023 年 12 月 23 日(土) 昼公演 14:00～ 夜公演 19:00～
 会場 ゲーテ・インスティテュート東京ホール(ドイツ文化会館 1 階ホール)(東京)
 助成額 400,000 円
- (10)事業名 Reise String Laboratory シリーズ
 実施団体 一般社団法人 Reise
 日程 公開リハーサル:2024 年 3 月 8 日(金)～3 月 9 日(土)
 演奏会:2024 年 3 月 10 日(日)
 会場 今福音楽堂(大阪)
 助成額 300,000 円
- (11)事業名 オーケストラの日 2024
 実施団体 公益社団法人日本オーケストラ連盟
 日程 2024 年 3 月 31 日(日)
 会場 東京文化会館大ホール及び小ホール(東京)
 助成額 700,000 円

5. 広報活動

当財団の活動を広く周知するため、以下のような広報活動を展開している。

- (1) 財団パンフレット(日英併記)を作成し、関係する演奏会の会場などで広く一般に配布している。
- (2) ホームページや SNS(日英併記)にて、財団の事業活動全般について紹介している。
- (3) 財団主催演奏会の CD を制作し、国内外の音楽関係機関、オピニオンリーダー等に配布、また演奏会動画を当財団 YouTube サイトで配信している。
 本年度作成した CD 及び動画配信等は、以下のとおり。

- ①「レイ・チェン ヴァイオリン・リサイタル」実録 CD 制作及び動画配信
(2023年8月9日東京収録)
- ②全国公立文化施設協会(公文協)との共同事業
「ヴェロニカ・エーベルレ ヴァイオリン・リサイタル」実録 CD 制作
(2023年9月9日滋賀収録)
- ③「ストラディヴァリウス・コンサート 2023」実録 CD 制作及び動画配信
(2023年9月24日東京収録)
- ④「ステラ・チェン&イム・ジョン デュオ・リサイタル」実録 CD 制作及び動画配信
(2024年1月25日東京収録)
- ⑤「日本オーケストラ連盟との共同事業演奏会」実録 CD2種制作
(2024年1月6日神奈川、1月8日山形収録:外村理紗演奏)
(2024年1月27日神奈川収録:ステラ・チェン演奏)
- (4) 楽器被貸与者との間で締結している貸与契約書に以下の内容を明記し、当財団が実施する事業の周知・広報に協力を得ている。
- ①被貸与者は、報道機関のインタビューや演奏会プログラムにおいて、貸与楽器の名称及び当該楽器が当財団から貸与されていること的事实を周知・広報する。
- ②貸与楽器による演奏が、CD、動画等の形で制作されるときは、被貸与者は、貸与楽器の名称及び当該楽器が当財団から貸与されていること的事实を当該制作物に明確に表示する。
- ③被貸与者は、年に1度、3月末日までに前年4月からの演奏会(開催日、開催場所、演奏曲目、入場者数等)、CD、動画等制作に関する活動内容報告書を当財団に提出する。本年度中に貸与楽器を使用しリリースしたCD等は以下のとおり。
- | | |
|------------------|--|
| Goldmund Quartet | Stradivarius “Paganini Quartet”使用
CD「Franz Schubert」 |
| María Dueñas | Stradivarius 1710年製 Violin “Camposelice”使用
CD「Beethoven and Beyond」 |
| Camille Thomas | Stradivarius 1730年製 Cello “Feuermann”使用
CD「The Chopin Project」 |
- (5) 音楽雑誌、新聞、その他マスメディア等の取材要請、財団保有楽器の写真提供要請に応え、財団の活動の周知・広報を図っている。
本年度における楽器貸与に係る主な掲載記事等の内容は以下のとおり。
- ①「サラサーテ」2023年8月号
「ストラディヴァリウス・コンサート 2023」出演者インタビュー
- ②「Strad Magazine」2023年10月号
Benjamin Beilman インタビュー&デル・ジェス・ヴァイオリン「イザイ」について
- ③「The Strings」2023年12月号
デル・ジェス・ヴァイオリン「イザイ」について

III 総務

1. 役員の異動

西村朗評議員が2023年9月7日に逝去された。

清原武彦評議員が一身上の都合により2023年9月25日付で退任された。

年度末現在の理事・監事・評議員の名簿は巻末別紙1のとおり。

2. 理事会

本年度は、理事会を下記のとおり3回開催した。

2023年度第1回理事会

開催日 2023年6月2日(金)14:00～15:00

場 所 日本財団ビル2階会議室(東京都港区赤坂1-2-2)

議決事項 第1号議案 2022年度事業報告及び決算について
第2号議案 2023年度の事業計画及び収支予算の一部変更について
第3号議案 評議員会の招集について

2023年度第2回理事会

開催日 2024年3月1日(金)13:30～14:30

場 所 日本財団ビル2階会議室(東京都港区赤坂1-2-2)

議決事項 第1号議案 2024年度事業計画及び収支予算について
付帯決議案
事業計画の若干の字句の修正等は、会長に一任する
収支予算の金額の若干の変更及び科目間の流用は会長に一任する
第2号議案 諸規程の整備について
第3号議案 評議員選任委員の選任について
第4号議案 定時評議員会の招集について

3. 評議員会

本年度は、評議員会を下記のとおり2回開催した。

2023年度定時評議員会

開催日 2023年6月23日(金)14:00～15:00

場 所 日本財団ビル2階会議室(東京都港区赤坂1-2-2)

議決事項 第1号議案 2022年度事業報告及び決算について
第2号議案 2023年度の事業計画及び収支予算の一部変更について

2023年度臨時評議員会

開催日 2024年3月1日(金)15:00～15:40
場所 日本財団ビル2階会議室(東京都港区赤坂1-2-2)
議決事項 第1号議案 2024年度事業計画及び収支予算について
付帯決議案
事業計画の若干の字句の修正等は、会長に一任する
収支予算の金額の若干の変更及び科目間の流用は会長に一任する

4. 監事監査

2022年度事業報告及び収支決算について監事監査を行った。

開催日 2023年5月31日(水)14:00～15:00
場所 日本音楽財団内会議室(東京都港区赤坂1-2-2)

5. 登記事項

2023年9月29日 評議員の登記変更(2名削除)

6. 主務大臣(内閣府)への届出等

2023年6月30日 2022年度事業報告書及び収支決算書提出
2023年10月17日 評議員の登記事変更届(2名削除)
2024年3月25日 2024年度事業計画書及び収支予算書届

7. 外部監査の実施

永和監査法人に監査を委託し、期中監査を2024年3月18日に、期末監査を2024年4月30日、5月17日、23日に実施した。

8. 広報活動「ランチタイムコンサート」

「ランチタイムコンサート」(毎月第2、第4水曜日)は、当財団の事業を多くの人々に知ってもらい広報活動の一環として実施していたが、2020年2月中旬より新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を中止していた。2023年10月より再開し、下記のとおり11公演実施し計846名が来場した。

本年度の出演者は、主にコロナ禍で開催を中止した2020年度の動画演奏収録に協力した演奏家を優先してスケジュールを決定した。

次年度からは従来どおり、一般公募とし書類と動画審査により出演者を決定することにした。

日程 毎月第2、第4水曜日 12:10～12:50
場所 日本財団バウルーム(東京都港区赤坂1-2-2 日本財団ビル1階ロビー)

①2023年10月11日(水) 来場者数73名

RestART!

柳田茄那子(ヴァイオリン)、居福健太郎(ピアノ)

②2023年10月25日(水) 来場者数76名

ドビュッシーとショパンの名曲コンサート

野村なつき(ピアノ)

③ 2023年11月8日(水) 来場者数 84名

ランチタイムコンサート

山田香子(ヴァイオリン)、池邊啓一郎(ピアノ)

④ 2023年11月22日(水) 来場者数 78名

ブギ・ウギ・ピアノとの出逢い

高瀬啓伍(ピアノ)

⑤ 2023年12月13日(水) 来場者数 88名

Xmas Concert

柳田茄那子(ヴァイオリン)、居福健太郎(ピアノ)

⑥ 2024年1月10日(水) 来場者数 50名

箏・二十五弦箏コンサート

金子展寛(箏)

⑦ 2024年1月24日(水) 来場者数 98名

ピアノデュオで巡る音の旅

尾島紫穂(ピアノ)、寺元嘉宏(ピアノ)

⑧ 2024年2月14日(水) 来場者数 71名

メゾソプラノ&ピアノデュオコンサート ～ショパンとフランスに寄せて～

持田温子(メゾソプラノ)、原 久美子(ピアノ)

⑨ 2024年2月28日(水) 来場者数 72名

ドイツ音楽の調べ

野村なつき(ピアノ)

⑩ 2024年3月13日(水) 来場者数 72名

オペラ! オペラ! オペラ! 男たちによるランチタイムオペラコンサート

渡辺正親(テノール)、木村雄太(バリトン)、渡邊拓也(ピアノ)

⑪ 2024年3月27日(水) 来場者数 84名

Meguna Naka × Yui Harashima ランチタイムコンサート

中 恵菜(ヴィオラ)、原嶋 唯(ピアノ)

9.事務局

事務所を東京都港区赤坂 1-2-2 日本財団ビル 5階に置き、業務を遂行した。

年度末現在の事務局役職員数は常勤役員 2名、常勤職員 5名、契約職員 1名、派遣職員 1名、計 9名であるが、うち職員 1名が休業中である。

以上

別紙 1

公益財団法人日本音楽財団理事・監事・評議員名簿

(2024年3月31日現在、敬称略)

会 長	海老沢 勝二	(代表理事)
常務理事	加納 民夫	常勤 (業務執行理事)
理 事	石川 礼子	常勤 (業務執行理事)
理 事	伊東 信一郎	ANA ホールディング(株)特別顧問
理 事	海老澤 敏	国立音楽大学名誉教授
理 事	門 野 泉	清泉女子大学名誉教授 (公財)東京財団政策研究所理事長
理 事	澤 和 樹	ヴァイオリニスト (公財)文化財保護・芸術研究助成財団理事長
理 事	福井 俊彦	元日本銀行総裁 (一財)キャノングローバル戦略研究所理事長
監 事	垣 見 隆	弁護士
監 事	吉村 貞彦	公認会計士
評議員	相川 直樹	慶應義塾大学名誉教授
評議員	尾形 武寿	(公財)日本財団理事長
評議員	児玉 幸治	(一財)機械システム振興協会顧問
評議員	佐藤 隆文	元金融庁長官
評議員	白石 美雪	音楽学者、武蔵野美術大学教授
評議員	畠山 向子	(公財)畠山記念館館長
評議員	藤井 宏昭	(独)国際交流基金顧問

委員名簿

(2024年3月31日現在、敬称略)

楽器貸与委員 (欧州・米国・アジアの代表で構成)

委員長	原田 幸一郎	ヴァイオリニスト、桐朋学園大学特命教授 東京音楽大学特任教授
委員長代行	イヴァン・デ・ラオノア Yvan de Launoit	ベルギー・エリザベート王妃国際音楽コンクール 副理事長
委員	池辺 晋一郎	作曲家、東京音楽大学名誉教授
委員	アイダ・カヴァフィアン Ida Kavafian	ヴァイオリニスト、ヴィオリスト、 カーティス音楽院ヴァイオリン学科長
委員	キム・カシュカシヤン Kim Kashkashian	ニューイングランド音楽院ヴィオラ・室内楽教授
委員	クライブ・ギリンソン Clive Gillinson	カーネギーホール総支配人兼芸術監督
委員	ジョナサン・ノット Jonathan Nott	指揮者
委員	藤原 真理	チェリスト

事業運営委員

委員長	小倉 多美子	音楽ジャーナリスト、武蔵野音楽大学講師
委員	金子 建志	音楽評論家
委員	柴田 俊一	日本芸術文化振興会非常勤プログラムオフィサー、 元NHKプロデューサー
委員	柴辻 純子	音楽評論家
委員	那須田 孜	音楽評論家

日本音楽財団の保有楽器概要

(2024年3月31日現在)

Stradivarius "Paganini Quartet" 「パガニーニ・クアルテット」

1680年製 Violin 1727年製 Violin

1731年製 Viola 1736年製 Cello

アントニオ・ストラディヴァリ(1644～1737)製作による楽器で構成されたクアルテットは、世界で6セットの存在が知られている。このクアルテットはその一つであり、19世紀の伝説的なヴァイオリニスト、ニコロ・パガニーニ(1782～1840)が所有していたことでも有名である。

1994年4月に当財団はアメリカ・ワシントン D.C.のコーコラン美術館よりこのクアルテットを購入した。同美術館にこのクアルテットを寄贈した米国のアンナ・E・クラーク夫人の意志を受け継ぎ、当財団は4挺を常にセットとして四重奏団に貸与している。

Stradivarius 1700年製 Violin "Dragonetti" 「ドラゴネッティ」

このヴァイオリンはネックの部分までも製作当時のものが使用されているとても貴重な楽器である。著名なイタリアのコントラバス奏者ドメニコ・ドラゴネッティ(1763～1846)によって大切に所有されていたことから現在この名前と呼ばれている。ドラゴネッティは、コントラバス、ヴァイオリン、チェロ、ハープ、ギター等を収集していたことでも知られている。当財団の購入直前には、世界的に名の知られているヴァイオリン奏者、フランク・ペーター・ツィンマーマン(1965～)によって演奏されていた。

2002年6月に当財団が購入したものである。

Stradivarius 1702年製 Violin "Lord Newlands" 「ロード・ニューランズ」

イギリスのニューランズ卿(1825～1906)によって生涯大切にされていたため、現在この名前と呼ばれている。1964年から1982年にこの楽器を保管していたロンドンのヒル商会が、1973年に英国バースの古楽器名器展にて、当時のヒル商会を代表する楽器としてこのヴァイオリンを展示していた。楽器の保存状態が優れているだけでなく、その音質の良さでも知られており、以前このヴァイオリンを演奏したアイザック・スターン(1920～2001)は、自身が所有しているガエルネリ・デル・ジェスと同じパワーを感じると語ったという。

2002年6月に当財団が購入したものである。

Stradivarius 1708年製 Violin "Huggins" 「ハギンス」

このヴァイオリンは、1870年代後半にフランスからウィーンにもたらされ、1880年頃、ウィーンの楽器商ザックがW.E.ヒル&サンズに売却し、その後、イギリスの天文学者ウ

イリアム・ハギンス卿(1824～1910)が購入し、生涯所有していたことから「ハギンス」と呼ばれている。色艶も鮮やかで保存状態に優れている。当財団は1997年よりベルギーのエリザベート王妃国際音楽コンクール・ヴァイオリン部門優勝者に副賞として次のコンクールまでこの楽器を貸与し、コンクールの発展と演奏家の技術向上に寄与している。

1995年3月に当財団が購入したものである。

Stradivarius 1709 年製 Violin "Engleman" 「エンゲルマン」

このヴァイオリンは、アメリカ海軍士官ヤング中佐が第二次世界大戦中に戦死するまで、約150年間ヤング家に大切に保管されていたため、保存状態が優れている。当財団が保有する以前は、アメリカのアマチュア・ヴァイオリン奏者で臨床医学博士のエフレイム・エンゲルマンが所有していたため、現在はこの名前で親しまれている。

1996年12月に当財団が購入したものである。

Stradivarius 1710 年製 Violin "Camposelice" 「カンポセリーチェ」

このヴァイオリンは、1880年代にフランスのカンポセリーチェ公爵の手に渡ったことから「カンポセリーチェ」と呼ばれている。彼は優れたアマチュア演奏家で楽器収集家でもあった。1937年には、クレモナ古楽器名器展に当時この楽器を所有していたキューネ博士のコレクションとして展示された。当財団が購入する前は、30年間以上ベルギーのアマチュア奏者のもとで大切に保管されていた。

2004年9月に当財団が購入したものである。

Stradivarius 1714 年製 Violin "Dolphin" 「ドルフィン」

1860年代にこの楽器を所有していたジョージ・ハートは、光沢の美しい裏板のニスと華麗な見栄えが、優美なイルカが光り輝いている様を思わせることから「ドルフィン」という名前を付けた。音色並びに楽器の保存状態が優れており、1715年製「アラード」、1716年製「メシア」に並ぶストラディヴァリウスの三大名器の一つとされている。また、巨匠ヤッシャ・ハイフェッツ(1901～1987)が愛用していたことでも知られている。

2000年2月に当財団が購入したものである。

Stradivarius 1715 年製 Violin "Joachim" 「ヨアヒム」

この楽器は、ハンガリーのヴァイオリン奏者ヨーゼフ・ヨアヒム(1831～1907)が所有していたストラディヴァリウス1715年製ヴァイオリン3挺の内の1つである。また、ヨアヒムからヴァイオリンのレッスンを受けていた彼の兄弟の孫娘アディラ・ダラーニ(d'Aranyi)に遺贈されたことから「ヨアヒム=アラニ」という名前でも知られている。当財団が購入するまでは、アディラの遺族によって代々受け継がれてきた。

2000年9月に当財団が購入したものである。

Stradivarius 1716 年製 Violin "Booth" 「ブース」

1855年頃にイギリスのブース夫人が所有していたため、現在の名が付けられている。彼女はヴァイオリンの才能を発揮した2人の息子たちのためにストラディヴァリウスのクアルテットを形成しようと試み、フランスの高名な製作者で楽器商のジャン＝バティスト・ヴィヨーム(1798～1875)からこの楽器を購入した。1931年にアメリカの名高いヴァイオリン奏者ミッシェル・ミシヤコフ(1896～1981)の手にわたり、1961年にはニューヨークのヘンリー・ホッティンガー・コレクションの一部となった。音色の美しさ、音の力強さにおいて知名度が高く、保存状態も優れている。

1999年1月に当財団が購入したものである。

Stradivarius 1717 年製 Violin "Sasserno" 「サセルノ」

1845年からフランスのサセルノ伯爵が所有していたことからこの名前と呼ばれている。1894年にはヴァイオリン奏者のオットー・ペイニガーが所有し、その後イギリスで有名な醸造所を所有していたピカリング・フィップスの手に渡った。1906年にはイギリスの産業資本家ヘンリー・サマーズが所有し、以後93年間にわたり同家で大切に保管されていたことから、オリジナルのニスが多く残っており保存状態が非常に優れている。

1999年5月に当財団が購入したものである。

Stradivarius 1722 年製 Violin "Jupiter" 「ジュピター」

このヴァイオリンは、1800年頃にイギリスの収集家ジェームス・ゴディングによって「ジュピター」と名付けられたといわれている。この楽器は大切に使用されてきたため保存状態が素晴らしく、オリジナルのニスも全体に残っている。歴代の所有者にはカンポセリーチェ公爵のほかW.E.ヒル&サンズ、アマチュア奏者で臨床医学博士のエフレイム・エングレマンが含まれる。

1998年5月に当財団が購入したものである。

Stradivarius 1725 年製 Violin "Wilhelmj" 「ウィルヘルミ」

1866年以降、約30年間この楽器を所有していたドイツの著名なヴァイオリン奏者、アウグスト・ウィルヘルミ(1845～1908)に因んでこの名前が付けられた。ウィルヘルミの所有していた数多くのヴァイオリンのうち最も愛用されていた楽器だったが、「演奏者としてベストなうちに引退したい」との理由で、50代の若さで楽器を手放したという。ウィルヘルミは、バッハの管弦楽作品を編曲した「G線上のアリア」でも知られている。

2001年6月に当財団が購入したものである。

Stradivarius 1735年製 Violin "Samazeuilh" 「サマズイユ」

この楽器は 1836 年、楽器商のタリシオ(1796～1854)によってイタリアからフランス

へ持ち込まれ、1909年にはサマズィユ家が所有していたことから「サマズィユ」と呼ばれている。1923年に楽器を所有することになったヴァイオリンの巨匠ミッシェ・エルマン(1891～1967)は「ストラディヴァリウスの中で最高の音色を持つ楽器の1つ」と1926年に手紙に記している。楽器の内側のラベルには製作者の年齢である91歳と書かれている。

2017年8月に当財団が篤志家からの寄付と日本財団からの助成を合わせて購入したものである。

Stradivarius 1736年製 Violin "Muntz" 「ムンツ」

楽器の内側に貼られたラベルには、ストラディヴァリ本人の手書きで「d'anni 92(92歳)」と書かれている珍しい楽器である。透明な黄褐色のニスで楽器のほぼ全体に綺麗に残っており、楽器の保存状態も音色も格段に優れている。1874年以降、英国バーミンガムの有名な収集家でアマチュアのヴァイオリン奏者のH.M.ムンツが所有していたため、「ムンツ」と呼ばれている。1737年に死去したストラディヴァリが、最晩年に製作した楽器の1つとして知られている。

1997年7月に当財団が購入したものである。

Stradivarius 1696年製 Cello "Lord Aylesford" 「ロード・アイレスフォード」

イギリスのアマチュア奏者アイレスフォード卿が1780年代初期にイタリアの名高いヴァイオリン奏者フェリーチェ・デ・ジャルディーニ(1716～1796)から購入し、その後アイレスフォード家に約100年間所有されていたことからこの名前が付けられた。1946年にはアメリカ・フィラデルフィアに住んでいた世界的に著名なチェロ奏者グレゴール・ピアティゴルスキー(1903～1976)の手に渡り、1950年から1965年には巨匠ヤーノシュ・シュタルケル(1924～2013)によって演奏会や35枚のレコーディングのために使用された。

2003年6月に当財団が購入したものである。

Stradivarius 1730年製 Cello "Feuermann" 「フォイアマン」

アントニオ・ストラディヴァリが製作したチェロのうち、現存するのは約50挺といわれている。「フォイアマン」は、普通のチェロと比べ楽器本体の部分が細長い点の特徴である。世界的に活躍した名チェロ奏者のエマヌエル・フォイアマン(1902～1942)が1939年から亡くなるまで世界各地で録音、演奏に使用したことから、この名前と呼ばれている。

1996年12月に当財団が購入したものである。

Guarneri del Gesù 1736年製 Violin "Muntz" 「ムンツ」

アントニオ・ストラディヴァリと並び称される名工、バルトロメオ・ジュゼッペ・ガアルネ

リ(ガアルネリ・デル・ジェス)(1698～1744)が製作したヴァイオリン。内側に貼られたラベルには「Joseph Guarnerius fecit Cremona anno 1736」と書かれている。1736年製のストラディヴァリウス・ヴァイオリンも所有していたイギリスのアマチュア奏者で収集家のムンツが一時期所有していたことから、この名前で親しまれている。

1995年3月に当財団が購入したものである。

Guarneri del Gesù 1740 年製 Violin "Ysaÿe" 「イザイ」

この楽器はベルギーを代表する世界的ヴァイオリン奏者で作曲家、ウジェーヌ・イザイ(1858～1931)が所有していたことからこの名前が付けられた。楽器の中には小さなラベルが貼られ、赤いインクで「このデル・ジェスは私の生涯を通じて忠実なパートナーだった。イザイ1928」とフランス語で書かれており、イザイの国葬の際には棺の前をクッションに載せられ行進した。その後、1965年に巨匠アイザック・スターン(1920～2001)の所有となり、1998年に当財団がこの楽器をスターンから購入した後も、当財団は演奏委託したので彼は生涯にわたり愛用した。

1998年3月に当財団が購入したものである。

以上、当財団は、ストラディヴァリウス・ヴァイオリン15挺、ストラディヴァリウス・ヴィオラ1挺、ストラディヴァリウス・チェロ3挺、ガアルネリ・デル・ジェス・ヴァイオリン2挺の合計21挺の弦楽器を保有している。

楽器名と被貸与者一覧

別紙 4

2024年3月31日現在

楽器名	被貸与者	備考
貸与区分A(貸与期間満7年以内)、B(貸与期間満3年以内)、貸与期間1年以上(旧長期貸与:貸与区分記載なし)		
Stradivarius "Paganini Quartet"	Goldmund Quartet	
1 1680年製 Violin "Paganini"	Pinchas Adt (Mr)	ミュンヘン在住 貸与区分A
2 1727年製 Violin "Paganini"	Florian Schötz (Mr)	ヴュルツブルク(ドイツ)在住 貸与区分A
3 1731年製 Viola "Paganini"	Christoph Vandory (Mr)	ミュンヘン在住 貸与区分A
4 1736年製 Cello "Paganini"	Raphael Paratore (Mr)	ミュンヘン在住 貸与区分A
5 Stradivarius 1700年製 Violin "Dragonetti"	Veronika Eberle (Ms)	ベルリン在住
6 Stradivarius 1702年製 Violin "Lord Newlands"	Suyoen Kim (Ms)	ベルリン在住
7 Stradivarius 1709年製 Violin "Engleman"	Timothy Chooi (Mr)	フィラデルフィア在住 貸与区分A
8 Stradivarius 1710年製 Violin "Camposelice"	María Dueñas (Ms)	ウィーン在住 貸与区分A 2017/7/12よりdel Gesu Muntz貸与 2022/11/16よりCamposelice貸与
9 Stradivarius 1714年製 Violin "Dolphin"	Ray Chen (Mr)	フィラデルフィア在住 2009年エリザベートコンクール優勝者Huggins貸与 (2009/6/2-2010/9/8) 2012/4/11よりLord Newlands貸与 2014/6/19よりJoachim貸与 2019/10/23よりSamazeuilh貸与 2022/9/5より Dolphin貸与
10 Stradivarius 1715年製 Violin "Joachim"	外村理沙 (Ms)	ニューヨーク在住(東京出身) 貸与区分A 2022/1/12-2023/8/25 2023/8/25よりJoachim貸与
11 Stradivarius 1716年製 Violin "Booth"	吉田 南 (Ms)	ボストン在住(奈良出身) 貸与区分B
12 Stradivarius 1717年製 Violin "Sasserno"	Ji Young Lim (Ms)	ソウル在住 2015年エリザベートコンクール優勝者Huggins貸与 (2015/6/2-2019/3/28) 2019/3/28よりSasserno貸与
13 Stradivarius 1722年製 Violin "Jupiter"	Giuseppe Gibboni (Mr)	ポルツァ(スイス)在住 貸与区分A
14 Stradivarius 1725年製 Violin "Wilhelmj"	金川真弓 (Ms)	ベルリン在住(東京出身) 貸与区分A
15 Stradivarius 1735年製 Violin "Samazeuilh"	Lun Li (Mr)	ニューヨーク在住 貸与区分A
16 Stradivarius 1736年製 Violin "Muntz"	吉本梨乃 (Ms)	ブリュッセル在住(兵庫出身) 貸与区分B
17 Stradivarius 1730年製 Cello "Feuermann"	Camille Thomas (Ms)	パリ在住 貸与区分A
18 Guarneri del Gesù 1740年製 Violin "Ysaye"	Benjamin Beilman (Mr)	ニューヨーク在住 2016/12/7よりEngleman貸与 2022/6/6よりYsaye貸与
貸与区分C(周年記念コンサート、コンクール出場、録音目的等のための貸与)		
19 Stradivarius 1696年製 Cello "Lord Aylesford"	横坂 源 (Mr)	静岡在住
20 Guarneri del Gesù 1736年製 Violin "Muntz"		貸与終了後保管中
貸与区分D(ベルギー・エリザベート王妃国際音楽コンクール(ベルギー)優勝者への次期コンクール開催までの貸与)		
21 Stradivarius 1708年製 Violin "Huggins"	Stella Chen (Ms)	ニューヨーク在住 2019年エリザベートコンクール優勝者

長期:区分A、B等18挺、短期:区分C2挺、コンクール:区分D 1挺 現在保有楽器 計21挺

上記のとおり 2023 年度事業報告書及び附属明細書を提出いたします。

2024(令和 6)年 5 月 28 日

公益財団法人 日 本 音 楽 財 団

会 長 海 老 沢 勝 二

①

2023 年度事業報告書及び附属明細書を監査した結果、適正かつ妥当であると認めます。

2024(令和 6)年 5 月 28 日

監 事 垣 見 隆

①

監 事 吉 村 貞 彦

①